

1 辻 人志 議員（政新さかい） 【一問一答】

(1) 小規模店舗の事業承継支援について

- ・本市の小規模店舗の事業承継における現状認識を問う。
- ・事業承継支援について、これまでの取組の経過と成果、今後の取組を問う。

(2) 新保橋の拡幅改修について

- ・新保橋について、現在どのような修繕が行われているのか。
- ・毎年本市の重点要望事項として県に要請しているが、県の反応は。
- ・早期の架け替えに向けた市の考えを問う。

2 鍋嶋 邦広 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 坂井市のホテル誘致に関する取組と今後の観光戦略について

- ・直近5年間（2020年～2024年）の本市の宿泊施設の（1）軒数、（2）客室数、（3）最大収容人数の各推移について、宿泊施設の分類別、総合計の数値を問う。
- ・2021年12月に策定の三国グランドビジョン（東尋坊を核とした三国エリア誘客向上構想）にも掲げた、三国エリアでの（1）延べ宿泊人数、（2）消費単価を1.5倍にする構想の現状はどうか。また今後どう取り組んでいくのか所見を問う。
- ・坂井市観光ビジョン戦略基本計画が2023年で終了しているが、2024年以降の計画策定はどのように進めているのか、改めて問う。
- ・直近5年間（2020年～2024年）の本市の（1）年間観光入込客数、（2）年間宿泊者数、（3）観光消費額の各推移について問う。
- ・2回目の「美食都市アワード」が今年3月に発表され、本市が受賞都市に選ばれたが、今後どのように取り組んでいくのか、本市の所見を問う。
- ・総面積約23万㎡（約7万坪）を誇る坂井市海浜自然公園内に、本格的な大型ラグジュアリーホテル進出の可能性はあるのか、本市の所見を問う。

3 伊藤 聖一 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 放課後児童クラブ必要性確認とこども誰でも通園制度導入の理念について

- ・こども誰でも通園制度を導入するにあたり、坂井市はどのような子育て社会が理想と考え、何を目指して制度を導入すると決めたのか。
- ・こども誰でも通園制度と放課後児童クラブ利用条件について、担当課として矛盾を感じないのか。
- ・放課後児童クラブでの長期休暇における送迎の条件はどのようなものか。
- ・放課後児童クラブで必要性確認の条件を見直せないとしたら、その理由は何か。
- ・最後に改めてこども誰でも通園制度の理念の下に、放課後児童クラブの必要性確認の条件見直しを求める。

4 戸板 進 議員（創政会） 【一問一答】

- (1) 福井港丸岡インター連絡道路 I 期工事完了及び福井森田丸岡線工事完了に伴う周辺土地利用について
- ・福井港丸岡インター連絡道路、福井森田丸岡線は、センターから300メートルは特定用途制限地域として制限がかかると思うが、住宅の建築は可能なのか。
 - ・福井森田丸岡線と末政随応寺線が交差する周辺を住宅専用地域に指定はできないか。
 - ・福井港丸岡インター連絡道路、福井森田丸岡線の交差する沖布目地係は物流の重要な地域と考える。また、福井森田丸岡線は福井市への生活道路になると考えられる。このことから、2031年までの間に、坂井市の新たな用途地域に指定するか、地区計画は検討できないのか。
- (2) 福井空港再整備について
- ・県は、地元住民らを対象に開いたワークショップで出された意見を踏まえ構想案をまとめるとされていたが、どのような意見が出され、この構想の中にどのように反映されているのか。
 - ・福井空港を防災拠点空港として、また観光客誘客用空港として市は今後どのように活用していくのか。

5 後藤 寿和 議員（志政会） 【一問一答】

- (1) 東尋坊再整備について
- ・東尋坊再整備事業の全体構想について、再整備の基本的なビジョンは。また、事業の段階的な進め方と、整備完了予定時期はいつか。
 - ・再整備を進める上での現状の課題や問題点はどのようなことがあるのか。また、地元住民や観光客からの具体的な声はどういったものがあるのか。
 - ・現在工事中の駐車場の整備内容と完成時期はいつか。また、現在の駐車場での混雑・台数不足に対する対応策はあるのか。
 - ・二次交通の現状と今後の課題は。
 - ・外国人観光客向けの案内表示、多言語対応などの整備状況と今後のインバウンド誘致戦略やプロモーションの方向性はどうか。
 - ・再整備後の東尋坊に対する本市の期待と今後の展望について、どのような変化・効果を期待しているか。

6 伊藤 宏実 議員（政友会） 【一問一答】

- (1) プラごみ一括回収の成果と課題について
- ・昨年1年間の回収実績（トン数）、目標との比較（達成度）について問う。
 - ・回収にかかる費用として、坂井市全体で1年間にかかった費用は。また、予算との比較について問う。
 - ・CO2削減への寄与度はどの程度か。
 - ・市民の理解度や令和7年度に向けた課題をどう捉えているのか。また、新たな取組として実施予定、あるいは検討していることは。
- (2) 洋上風力発電について

- ・あわら市沖における洋上風力発電の計画が進んでいるが、関係するあわら市、加賀市、福井県、石川県との連携の状況、また諸団体との意見交換は障壁なく順調に進んでいるのか。法定協議会設置に向けた見通しは。
- ・現在、環境推進課が担当部署となっているが、令和7年度の県への要望の際には、林業水産振興課、観光交流課も関連部署となっている。法定協議会設置に向けて、坂井市としての推進体制の強化が必要ではないか。

7 岡部 恭典 議員（創政会） 【一括】

(1) えちぜん鉄道利用者の利便性について

- ・駐輪場の現状を見ると老朽化による改修が必要な駐輪場や利用者が多いため駐輪場に入らず道路にはみ出している駐輪場も見受けられる。駐輪場の管理はどのようになっているのか。また、今後、駐輪場の改修や整備を実施していく考えはあるのか伺う。
- ・2024年10月11日から交通系ICカードが利用開始となり利用者にとっては利便性が向上したと思われる。一方で、えちてつサポーターズクラブの会員には普通乗車券の割引や様々な特典があるが、乗車券を購入するときには会員証を提示しなければならない。ICカードとの連携を構築することにより利便性が増すと思われるが、その対応について伺う。
- ・県内外から多くの方が来園するゆりフェスタ期間中、西長田ゆりの里駅からシャトルバスを運行したり、駅にレンタサイクルを設置し、鉄道利用者の利便性向上の取組を実施してはどうか伺う。

8 川畑 孝治 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 若者対策を

- ・図書館やコミュニティセンターなどに学べるスペースを増やすべきでは。
- ・高校生などの意見を聞き、楽しめる施設への取組をすべき。

(2) リチウムイオン電池などの回収をすべき

- ・県や広域圏と連携してリサイクルに取り組むべき。
- ・コミュニティセンターなどでのリチウムイオン電池などの回収を行うべき。

(3) 旧春江工業高校グラウンドの活用を

- ・県に対して、スタートアップ事業者の拠点となるような施設を要望しては。

9 永井 純一 議員（公明党） 【一括】

(1) 市窓口で軟骨伝導イヤホン導入を

- ・耳が聞こえにくい方は来庁されるのか。その際、どのような対応をしているのか伺う。
- ・軟骨伝導イヤホンが未導入であるなら、本庁・支所の窓口・相談窓口で軟骨伝導イヤホンの導入設置を提案する。

(2) ここサポの体制強化について

- ・市民の最後のとりで、究極の幸福実感を得る、ここサポ事業を将来にわたって継続

するための体制強化を早急に図ってほしいが、市長の見解を伺う。

10 山田 秀樹 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 市民を守る防犯カメラ

- ・本市では年間どれくらいの犯罪が発生しているのか。また、その状況を市はどう捉えているのか。
- ・市が設置している防犯・監視カメラのそれぞれの数及び主な場所、設置状況、成果、今後の計画は。
- ・幼保園・保育園（所）・認定こども園・小中学校敷地内及び、通学路へのカメラ設置状況は。
- ・市では、区（町内会、自治会）が行う防犯カメラ等の防犯インフラの初期整備を支援するため、安全安心まちづくり支援事業補助金を設けているが、申込みや設置状況は。
- ・「防犯カメラ作動中」のステッカーや、看板を設置することはカメラの設置目的を周知するとともに犯罪抑止効果を期待することができる。なるべく目立つよう設置を求めるが市の考えは。

11 廣瀬 陽子 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 有害鳥獣対策について

- ・市の農作物被害の状況は。また、農作物以外の被害状況は。
- ・有害鳥獣による人的被害や農作物被害があった場合や、市街地に出没した場合は、市民から積極的に情報が届くが、目撃や痕跡を見つけただけでは情報提供をしない場合も多いと考える。住民からの情報を積極的に収集し把握することで住民への注意喚起や積極的な檻の設置などの対応ができるかと考えるが、市では目撃や痕跡の情報を市民からどのように収集しているのか。
- ・令和5年度より、クマの誘引樹木伐採事業補助金を行っているが、利用実績は。有害鳥獣対策の一つとして活用されているのか。
- ・狩猟免許所持者の高齢化が指摘されている。市では狩猟免許取得及び猟銃所持初期経費の助成を行っているが、新たに狩猟免許を取得した人が有害鳥獣捕獲隊員として活動を続けていくためにどのような対応を行っているのか。

12 佐藤 岳之 議員（創政会） 【一括】

(1) 坂井市制施行20周年に向けての取組について

- ・過去の市制施行1周年、5周年、10周年では、これまで具体的にどのような記念事業が実施されてきたか伺う。
- ・坂井市制施行20周年に向けての市の基本的考え方や取組について伺う。
- ・坂井市制施行20周年事業の実行委員会の設置予定はあるか伺う。
- ・坂井市制施行20周年を盛り上げるため、市民、職員などからアイデアを公募する考えはないか伺う。

(2) 建設予定地に完成予想図を

- ・市内公共施設の建設、工事中の現場に、施設の完成予想図、イメージ等を掲げることとはできないか、市の見解を伺う。

13 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】

- (1) コメ価格の高騰による、お米の購入補助を
 - ・コメ価格の高騰による、お米の購入補助を求める。
- (2) 公契約条例の制定で地域での「好循環」の実現を
 - ・地元の業界団体や関係機関などの意見や県の発注者協議会との連携など条例化に向けての研究経過について詳細を求める。
 - ・地域経済に好循環をもたらす「公契約条例」の制定を求める。

14 三宅 小百合 議員（チャレンジさかい） 【一問一答】

- (1) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を
 - ・本市の精神疾患を有する患者数の推移はどのような状況か。
 - ・コロナ禍や社会変化により、うつ病患者は増加傾向にあり、2025年時点では気分障がい全体で120万人以上と推定される。うつ病単独では約70～80万人程度と見積もられるが本市の状況は。
 - ・精神疾患やうつ病を未然に防ぐ取組をどのように行っているか。
 - ・メンタルヘルス支援士の育成を。
 - ・ACT（包括型地域生活支援プログラム）実施のための支援チームの設立を。

15 林 豊夏 議員（創政会） 【一問一答】

- (1) 「子育てするなら坂井市」の実態と今後の展望について
 - ・市が推進する「子育てするなら坂井市」のキャッチフレーズに基づく主な施策内容について伺う。また、他市町と比較して、市の子育て支援施策の強みや独自性はどこにあると認識しているか伺う。
 - ・坂井市独自に実施している施策のうち、市民に高く評価されているもの、または利用実績が高いものは何か、データ等に基づき説明願う。また、現行制度における課題や今後の改善点について、市としての認識を伺う。
 - ・子育てすくすく支援事業については、国による児童手当の拡充に伴い、第3子以降分が国制度に転換されたと理解しているが、これまでの坂井市独自でやってきたこの事業の意義をどのように評価しているのか。また、今後新たに検討中または導入予定の独自の支援策があるのか、今後の方向性について伺う。
 - ・令和4年度に設置された結婚応援課と子育て支援施策がどのように連携し、相乗効果を図っていくのか、市としての考えを伺う。また、それぞれの施策が連動し、切れ目のない支援として市民に届くよう、庁内でどのような連携・横断的な体制づくりを行っているのか、具体的な取組や今後の方向性について伺う。
 - ・今後、坂井市として特に注力していく子育て支援分野は何か。また、中長期的にどのような施策展開を目指しているのか、具体的な方針を伺う。

16 松本 朗 議員（日本共産党議員団） 【一問一答】

(1) イータクの改善・充実を求める

- ・利用者の伸びはどのような状況か。
- ・市民のニーズに応えるためには、現在の契約台数を増やすべきと考えるがいかがか。
- ・買物など荷物を抱えて自宅に帰る利用者には、料金を負担してもらい、自宅まで運行できる仕組みを導入すれば、利用者に大いに喜ばれる。仕組みの導入を求める。

(2) 国民健康保険税の軽減のために 子どもの均等割の廃止を求める

- ・国民健康保険税が世帯収入に対し、負担が大きいとの認識はあるか。
- ・就学前児童の均等割が半額になっているが、これを改めるべきである。少なくとも高校卒業までの年齢は、均等割の対象から除外することを求める。

(3) 能動的サイバー防御関連法と市民、地方行政 市長の見解、懸念は

- ・坂井市は上下水道を運営しているが、基幹インフラの事業者は政府との協定に基づき、利用者の同意なく政府に個人情報を提供できる。市は政府と情報提供の協定を結ぶのか。
- ・政府は、取得した通信情報から送受信先を示す I P アドレスやメールアドレスなどの「機械的情報」を取り出し、それ以外は直ちに消去するとしているが、検証することはできない。市はそれを確かめられるのか。
- ・国民監視社会につながる同法案に対する市長の懸念はあるか。